



市では、気象庁が市消防本部に設置しているアメダスのほかに、各区に独自の観測地点を設けて積雪状況を毎日観測し、データを収集しています。

12月14日の初雪から各地区にどれだけの雪が積もったのか、積雪データをもとにまとめました。

グラフで見る積雪記録



12月14日の初雪で始まった本格的な「おばねの冬」。一気に降り積もった雪に懸命な除雪作業も追い付かず、市民生活にも大きな影響が出ました。少雪だった前年とは打って変わり、大雪となった今冬の足跡を振り返ります。

2月18日には、除排雪対策費等の増額を国へ求める要望活動を、オンラインで行っています。

また、家の周りが雪で埋まり、自力では除雪が困難なひとり暮らし高齢者を助けようと、「豪雪除雪隊」を結成。市内11軒で除雪ボランティアが行われました。

今回の大雪では、屋根の雪下ろし作業中の転落事故や屋根からの落雪による事故、除雪機による事故等多発しました。

12月14日から降り続いた雪は18日午前8時には市内5地区の平均積雪が136cmに達し、同日午前11時に豪雪対策本部が設置されました。その後雪は降り続き、21日にはアメダス統計以来12月の積雪深最高値となる140cmを記録。さらに年末年始の寒波により1月11日には市内5地区の平均積雪深が210cmに、2月18日には20cmに達し、今シーズン最高値を記録しました。

今年降った、降った！今冬の豪雪の記録

今年降った、降った！

各地区の最大積雪深と累積降雪量(令和3年2月24日時点データより)

尾花沢市消防本部	最大積雪深	累積降雪量
アメダス	207cm (R3.2.18)	740cm
自主観測(尾花沢地区)	229cm (R3.2.18)	


5地区平均 (消防本部・福原・宮沢・玉野・常盤)	最大積雪深	累積降雪量
	220cm (R3.2.18)	983cm

各地区観測地点	最大積雪深	累積降雪量
福原(野黒沢)	228cm (R3.2.18)	1,078cm
宮沢(押切)	248cm (R3.2.18)	903cm
玉野(鶴巻田)	220cm (R3.2.18)	1,035cm
常盤(三日町)	192cm (R3.1.11)	1,157cm
花笠高原スキー場	250cm (R3.2.9)	898cm

用語解説

- ①積雪深：観測日時点で自然に積もっている雪の深さを計測したもの。気温や風の強さなどによって雪の沈み込みなどがあるため、累積降雪量とは異なる。
- ②累積降雪量：初雪観測日から最終観測日までの降雪量(その日降った雪の量)を合計したもの。

※参考：尾花沢市公式ホームページ「尾花沢市の雪対策情報」<https://www.city.obanazawa.yamagata.jp/1567.html>



市長コラム

余寒もようやく薄れ、ひと雨ごとに暖かさが増す季節となりました。

先月、福島県沖を震源地とした大きな地震が夜中に発生した際に、すぐに思い浮かんだのは東日本大震災の光景でした。

10年前の3月11日、かつて経験したことのない大きな地震と津波で、東北は大きな打撃を受けました。本市でも停電や断水被害を受けたものの、幸いにして大きな被害はなかったため、甚大な被害を受けた友好都市の宮城県岩沼市に復旧・復興を支援するために職員を派遣しました。

私事ですが、当時、岩沼市の避難所で「ゆう遊三味会」さんと「おばね蕎麦打ち愛好会」の皆さんとお蕎麦の振る舞いをさせていただきました。避難されている方々から「あったかくて美味しい」「旨いからもう一杯だけいただけますか」と声をかけていただき、一層力が入ったことを覚えています。

先日岩沼市の追悼式に出席し、着実に復興が進んでいることを実感しました。今後とも友好の絆と交流を深め、お互いに支援を続けていきたいと思います。

本市においても、民間企業や団体から災害時における連携強化と支援の輪が広がっています。今月は日産自動車と災害連携協定を締結しました。停電が発生した際には、電気自動車による給電支援を受けることができるため、大変心強く思います。

自然災害が起こったときには、まず個人の初動が重要だと考えますが、発災時の確かな対応・行動に迅速に取り掛かるには、普段の心がけやコミュニケーションが大切であることを実感しております。

皆様もこの節目に、各ご家庭にお配りしている「尾花沢市防災情報ガイド」を今一度ご確認いただき、防災意識を高めていただきたいと思います。

尾花沢市長 菅根 元雄



▲背丈よりも高く積もった雪の中を通学する子どもたち。



▼自力で除雪が困難な高齢者宅の雪をボランティアで除雪。



▼道幅を確保するため、何度も排雪作業が行われた。(写真は牛房野地区)



▲屋根に積もった大量の雪。各所で屋根の雪下ろし光景が見られたが、痛ましい事故も発生。



▲空き家に積もった屋根の雪が一旦に落ちて道路をふさぎ、通行できない状態に。